

基本方針 Ⅲ 健康で明るく豊かな生活を送ることができるスポーツ  
分野区分 1 スポーツ参画人口の拡大

事業名 (担当課)	実 施 目 的	事 業 等 の 概 要	経費合計 (円)	成 果 と 課 題	総合 評価	今後 の方向性
とわだ駒街道マ ラソン大会 (スポーツ・生 涯学習課)	マラソンを通して、「市民ひとり1スポーツ」の普及振興と健康増進・参加者相互の親睦を深める。また、官庁街通り（通称「駒街道」）を広く紹介し、市の活性化を図る。	秋のスポーツ行事として定着しており、市民、市外・県外のマラソン・ジョギング愛好者が日本の道百選「駒街道」をメインコースとした本大会を通して、参加者の生涯スポーツの普及・振興を目的としている。	1,900,000	<p>&lt;令和5年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●今後の状況を注視し、時代に見合ったより良い方法を模索する必要がある。</p> <p>&lt;令和6年度の成果と課題&gt; ○十和田市出身のゲストランナーを迎えることで、話題性を高めることができた。</p> <p>●ランナーのコース間違いがあったため、スタッフの配置や人員の増加などの運営体制を強化する必要がある。</p>	A	継続
<p>&lt;委員からの意見等&gt; ・ハーフマラソンを復活させる予定はないか。【回答】ハーフマラソンをやると、競技志向の方が集まってきて、マラソン大会に求めるレベルもすごく高いものを要求してくる。駒マラソンは市民の健康マラソンから始まったものなので、原点に戻して楽しんでもらおうという趣旨で、今は10kmまでにしている。</p>						
選抜高校相撲十 和田大会 (スポーツ・生 涯学習課)	全国から高校相撲の選手を招き、夏のイベントとして定着したこの大会を通して相撲の街十和田市を全国にPRするとともに、青少年の健全育成及び市の活性化を図る。	全国から選抜された高校40校（うち青森県からは3校）が参加して開催され、夏の恒例イベントとして、多くの市民が観戦に訪れている。	3,553,574	<p>&lt;令和5年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●当日は雨天により、会場内で四股を踏む学校があり、養生シートがめくれあがってしまった。</p> <p>今後は、練習用土俵の利用を促し対策したい。</p> <p>&lt;令和6年度の成果と課題&gt; ○屋内グラウンド内に練習場を設置することで、雨が降っていても練習できる環境を作り養生シートのめくれを抑えることができた。</p> <p>●雨により選手待機場所を会場内に変更したため、観客席が狭くなっていった。事前に対策を検討するなど、運営の工夫が必要。</p>	A	継続
全日本大学選抜 相撲十和田大会 (スポーツ・生 涯学習課)	全国から大学相撲の優秀選手を招いて、夏のイベントとして定着したこの大会を通して相撲の街十和田市を全国にPRするとともに、青少年の健全育成及び市の活性化を図る。	十和田市夏祭りの行事として定着している本大会に、全日本学生相撲連盟から選抜された12大学及び個人戦のみ参加の3校を加えた全15大学が、母校の名誉と自身の榮譽のために熱戦を繰り広げ、観客を魅了した。	1,121,000	<p>&lt;令和5年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●入場者数が年々減少傾向にある。要因としては観衆の高齢化が考えられる。今後、若年層へのPR活動等を行い入場者の増加を図る必要がある。</p> <p>●事業継続には、主管する青森県相撲連盟上十三支部と連携した収入の増と大会当日スタッフの確保が必要である。</p> <p>&lt;令和6年度の成果と課題&gt; ○多くの相撲ファンの来場により、夏のイベントとしての賑わいを創出することができた。</p> <p>●昨年度と比べ参加校が増えたことで、待機場所でスペースを取ってしまい観客席が狭くなっていたため、運営について工夫したい。</p>	A	継続
市民屋内大運動 会 (スポーツ・生 涯学習課)	「市民ひとり1スポーツ」を目指し、全地域、各層の住民を対象とした市民屋内大運動会を開催することにより、スポーツ人口の拡大と住民の体力づくり、健康づくりを推進することを目的とする。	団体競技6種目と個人競技3種目を行い、参加者数は6地区、213人であった。団体種目については市内地区対抗形式で行い、個人種目については地区に関係なく誰でも参加できるように開催している。	105,524	<p>&lt;令和5年度の課題&gt; ○：成果、●：課題 ●14地区のうち、参加は11地区と全地区ではないことから、今後も参加地区が増えるよう、地区体育振興会との連携を図っていく必要がある。</p> <p>&lt;令和6年度の成果と課題&gt; ○総合体育センターの改修工事により屋内グラウンドで実施したが、参加した全ての人が楽しめるよう工夫を行い、参加者がスポーツに親しみ、交流が図られる機会となった。</p> <p>●各地区が人員募集に苦慮しており、参加地区が6地区と減った。</p> <p>●他のイベントとの兼ね合いもあり、冬季開催となるが、屋内グラウンドの室温が低くケガ等のリスクがあることや全員を収容するには手狭であることから、令和7年度以降は総合体育センターの工事が終わるまで中止することとした。</p>	A	継続

基本方針 Ⅲ 健康で明るく豊かな生活を送ることができるスポーツ  
分野区分 1 スポーツ参画人口の拡大

事業名 (担当課)	実施目的	事業等の概要	経費合計(円)	成果と課題	総合 評価	今後 の方向性
市総合体育大会 (スポーツ・生涯学習課)	「市民ひとりひとりのライフステージに応じたスポーツ活動への参加」を目指し、市内全地区・各層住民を対象とした総合体育大会を開催することにより、スポーツ人口の拡大と住民の体力作り・健康づくりを推進する。	(1)前期競技6種目 グラウンドゴルフ・サッカー・ソフトボール・バドミントン・ゲートボール・パークゴルフ (2)後期競技7種目 ミニバレー・卓球・バレーボール・バスケットボール・ボウリング・インディアカ・ソフトバレーボール	334,669	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●参加地区、参加者が増えるよう競技や大会のあり方の検討を行っていく必要がある。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○各競技団体から協力を仰ぎ開催することができ、各地区のスポーツ人口の拡大や交流を推進することができた。 ●選手の確保に苦慮している地区があるため、類似競技について再編し参加地区の増につなげる必要がある。	A	継続
スポーツ少年団 (スポーツ・生涯学習課)	スポーツ少年団活動を通して、心身ともに健全な青少年の育成を図るとともに、団員個々の資質や技量の向上を図りながら、次代を担う青少年の育成を目指すための諸事業を実施する。	主な事業(参加人数) ①軟式野球競技会新人大会(45人) ②十和田市スポーツ少年大会(40人) ③十和田市スポーツ少年団母集団研修会(20人)	278,000	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●参加者が減った事業もあるので周知の仕方や、内容の精査などを行いより良い運営を行う必要がある。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○各大会や研修会に派遣を行い、団員・指導者の技術向上や交流を図ることができた。 ●スポーツ少年団主催大会の競技種目が減ったことで、今後登録者数が減少する可能性がある。	A	継続
スポーツ指導者の育成・確保 (スポーツ・生涯学習課)	スポーツ活動において、適切な指導・助言のできる指導者の育成・確保に努めるとともに、市民同士が交流しながら気軽にスポーツに楽しむことができる環境づくりを推進する。	スポーツ教室を通じて、地域におけるスポーツ活動のリーダーとして活躍できる人材を育成する。 生涯スポーツ推進員を委嘱し、各地区のスポーツ活動の実施及び各種大会等スポーツ活動への参加を図る。 スポーツ少年団の育成者の研修参加費を助成し、青少年のスポーツ指導者の育成を図る。	1,600,000	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●なし ＜令和6年度の成果と課題＞ ○サッカー元日本代表選手や元プロバスケットボール選手を講師に迎えたスポーツ教室を開催し、指導者への意識向上の一助とすることができた。	A	継続
	＜委員からの意見等＞ ・コーチ歴がすごく長くなってしまっていて、いわゆる独裁的なような感じになってるという意見を聞いたことがあるが、何か指導はしているか。【回答】以前相談はあったが、そこは当事者同士で解決してほしいと伝えてある。					
十和田市スポーツ推進委員協議会 (スポーツ・生涯学習課)	委員相互の連携を図るとともに、市民のスポーツ活動の普及促進に寄与することを目的とする。	市民へスポーツの理解を深め、生涯スポーツ・軽スポーツの普及推進に努めるとともに、指導助言及びスポーツ活動を促進する。 各種大会への運営協力にあたった。	242,000	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●引き続き、スポーツ推進委員の質の向上を図るほか、増員を図っていく必要がある。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○研修会を行い新たに加入した委員に指導方法の共有を行うことができた。 ●引き続き、スポーツ推進委員の質の向上を図るほか、増員を図っていく必要がある。	A	継続

基本方針 Ⅲ 健康で明るく豊かな生活を送ることができるスポーツ  
分野区分 2 スポーツを通じた活力ある社会の実現

事業名	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合評価	今後の方向性
体育、スポーツ賞に関する表彰（スポーツ・生涯学習課）	十和田市民（就学のため市外に居住している者を含む。）並びに市に所在する団体で体育、スポーツの振興に功績のあった者及びスポーツ活動において優秀な成績を収めた者を顕彰することを目的とする。	この表彰は永年に渡り社会体育の振興、選手の養成および各種目スポーツ団体の育成指導等に寄与した指導者や、県大会以上の大会において各競技で優秀な成績を収めた一般、大学生、高校生に贈られる賞で、市内の競技団体、大学、高校へ該当者、該当団体の推薦を依頼し、推薦された方々及び競技団体について市スポーツ推進審議会に意見を求め、教育委員会が受賞者を決定する。	754,334	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●当日受け取りができない受賞者への表彰物品の受け渡しスムーズにできなかったため、出欠回答の際に欠席の場合の受け渡し方法の記入欄を設けるなどより良い方法を検討する必要がある。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○締め切り後の申請がなくなりスムーズに業務を進められた。 ●当日の急な式典参加者が数人いたため、事前の連絡の徹底など適切に対応したい。	A	継続
スポーツ振興補助事業（スポーツ・生涯学習課）	各実施団体への補助等により、大会や事業を実施することで市民へスポーツ活動の場を提供し、市民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図ることを目的とする。	市スポーツ協会加盟団体の育成に関する事業を実施。 全国パークゴルフ交流大会、県民体育大会の開催のため負担金を支出。 市スポーツ協会・市地区体育振興会連合会・市中学校体育連盟等の5団体に補助金として支出。	11,418,657	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●各補助団体が、自主自立の精神で、独立採算・受益者負担だけで運営できるように指導・監督する必要があるが、難しいのが現状である。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○補助金等が運用上特に問題なく執行されており、大会等の事業が展開され、広くスポーツ振興に寄与することができた。	A	継続
スポーツいきいき健康づくり事業（スポーツ・生涯学習課）	市民ひとりひとりのライフスタイルに応じたスポーツ振興のため市民が気軽に楽しめる軽スポーツ教室や大会を開催することにより、各地区での定着を目指し、市民の健康増進と競技者同士の親睦を図る。	・はつらつ健康事業 リフレッシュスポーツ教室、水泳教室等を実施	4,735,700	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●ニュースポーツ教室の参加者が少ないため、競技内容や周知方法を工夫する必要がある。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○年度途中から総合体育センターが改修工事のため志道館等でのリフレッシュスポーツ教室の実施であったが、例年並みの参加者であり、市民の健康増進が図られた。 ●令和7年度も総合体育センターでの実施はできないが、場所を確保し、各種事業を実施する必要がある。	A	継続
学校体育施設開放事業（スポーツ・生涯学習課）	一般市民が各種のスポーツ活動を実践できる場所を確保するため、学校体育施設を開放し、スポーツ活動の普及とグループの育成に努め社会体育の振興を図る事を目的とする。	市民のスポーツの機会と場の提供のため、学校体育施設、主に体育館と校庭を一般に開放し、スポーツ活動の普及と地域の運動を主として活動するグループの育成、体力や健康増進、及び社会体育の振興を図る。	0	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●なし ＜令和6年度の成果と課題＞ ○学校閉校日について十分周知し、利用者や学校の安全安心を確保しながら活動してもらうことで、市民のスポーツ活動の普及等を図ることができた。	A	継続
学校プール開放事業（スポーツ・生涯学習課）	児童・生徒及び幼児の安全な水遊び場所の確保、並びに市民の夏季スポーツの機会と場所を提供するため、学校プールを開放し、夏季スポーツの振興を図ることを目的とする。	市内小学校1校にて開放、延べ7回実施した。（プール設備の老朽化のため、昨年度より2校減） 開放中の事故等に対応するため各自救急講習を受講してもらい事故防止に努めた。	265,380	＜令和5年度の課題＞ ○：成果、●：課題 ●薬品の管理等、学校と連携し協力を得ながら進めていく必要がある。 ＜令和6年度の成果と課題＞ ○1校のみの実施となったが、児童等の安全な水遊びの場を確保できた。 ○薬品の管理等、学校と連携し協力を得ながら進めることができた。	A	継続

基本方針 Ⅲ 健康で明るく豊かな生活を送ることができるスポーツ  
 分野区分 3 第80回国民スポーツ大会に向けた競技力向上の推進

事業名	実施目的	事業等の概要	経費合計（円）	成果と課題	総合評価	今後の方向性
施設整備・維持管理事業 （スポーツ・生涯学習課）	指定管理者導入による利用者サービスの向上及び効率的、効果的な施設の管理運営、並びに施設の修繕、備品購入・更新等により施設機能の維持、長寿命化及び安全安心な利用に資することを目的とする。	体育施設等について、指定管理者が基本協定、年度協定、関係法令・例規、業務基準書等に従って管理業務を行った。（十和田市スポーツ協会、十和田市サッカー協会、十和田湖ふるさと活性化公社、セライオコミュニケーションズネットワーククラブ） 施設の修繕、備品購入・更新等を行い、施設の計画的整備、充実に努めた。	206,788,741	<p>&lt;令和5年度の課題&gt;                   ○：成果、●：課題</p> <p>●大規模な修繕、緊急的な修繕を要する案件が増えているため、老朽化等してきているものについて、計画的な更新を検討、実施をしていく必要がある。</p> <p>&lt;令和6年度の成果と課題&gt;</p> <p>○故障等が生じた施設設備について、速やかに修繕対応を行った。</p> <p>○大規模な修繕、緊急的な修繕を要する案件が増えているが、修繕計画を作成し優先順位を付け、実施している。</p>	A	継続
	<p>&lt;委員からの意見等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲場は利用料をもらっているか。【回答】もらっている。</li> <li>・相撲場の利用について、広報とかはしているか。【回答】もともと様々な使われ方をしてきたので、これまでどおりという事で特にしていない。</li> </ul>					